

## Ⅲ 調査結果



## ① 第1回アンケートの調査結果



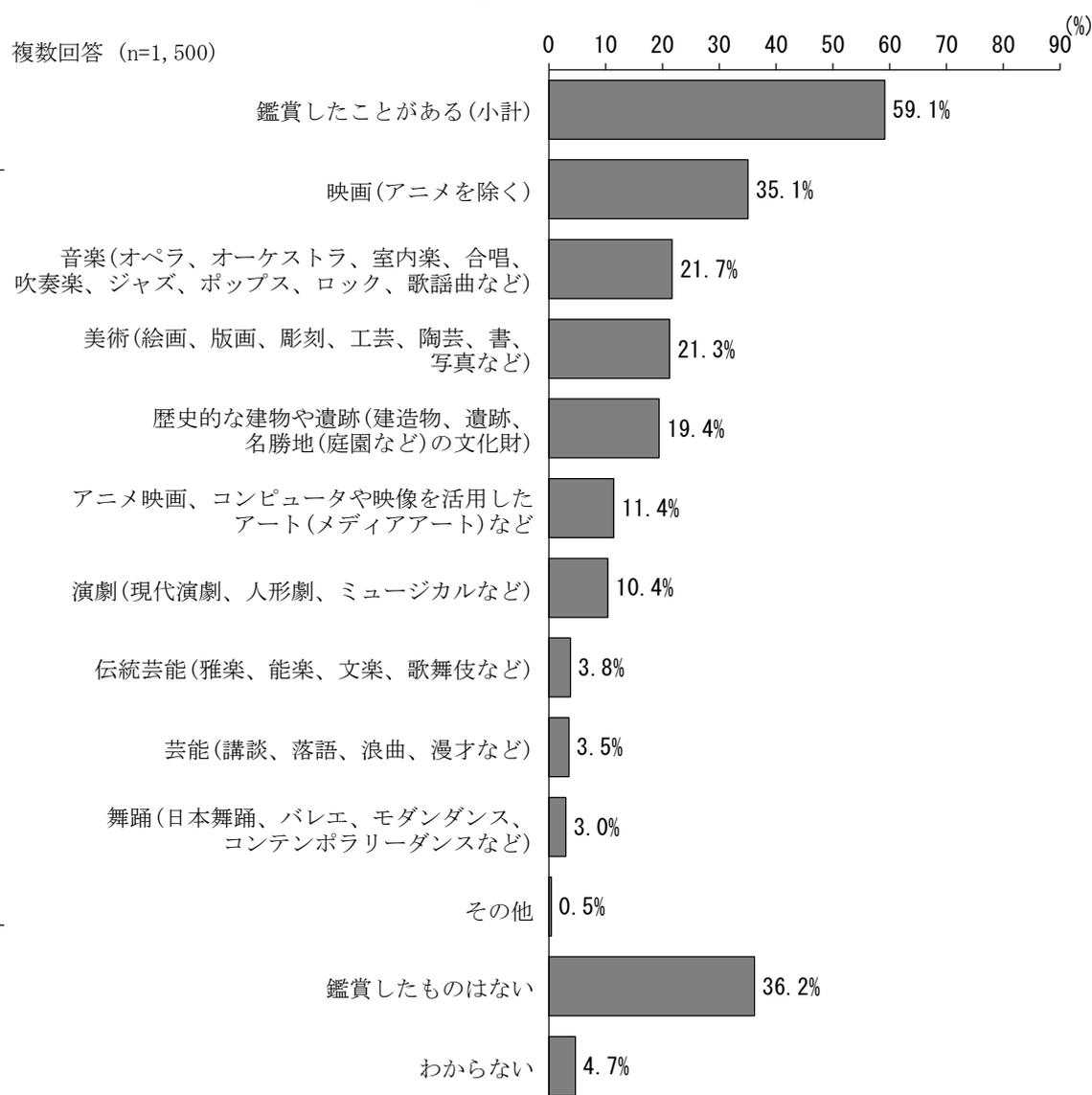
# 1 文化芸術の振興について

## 1-1 過去1年間に鑑賞した文化芸術

「文化芸術を鑑賞した人」が59.1%、「鑑賞したものはない」が36.2%

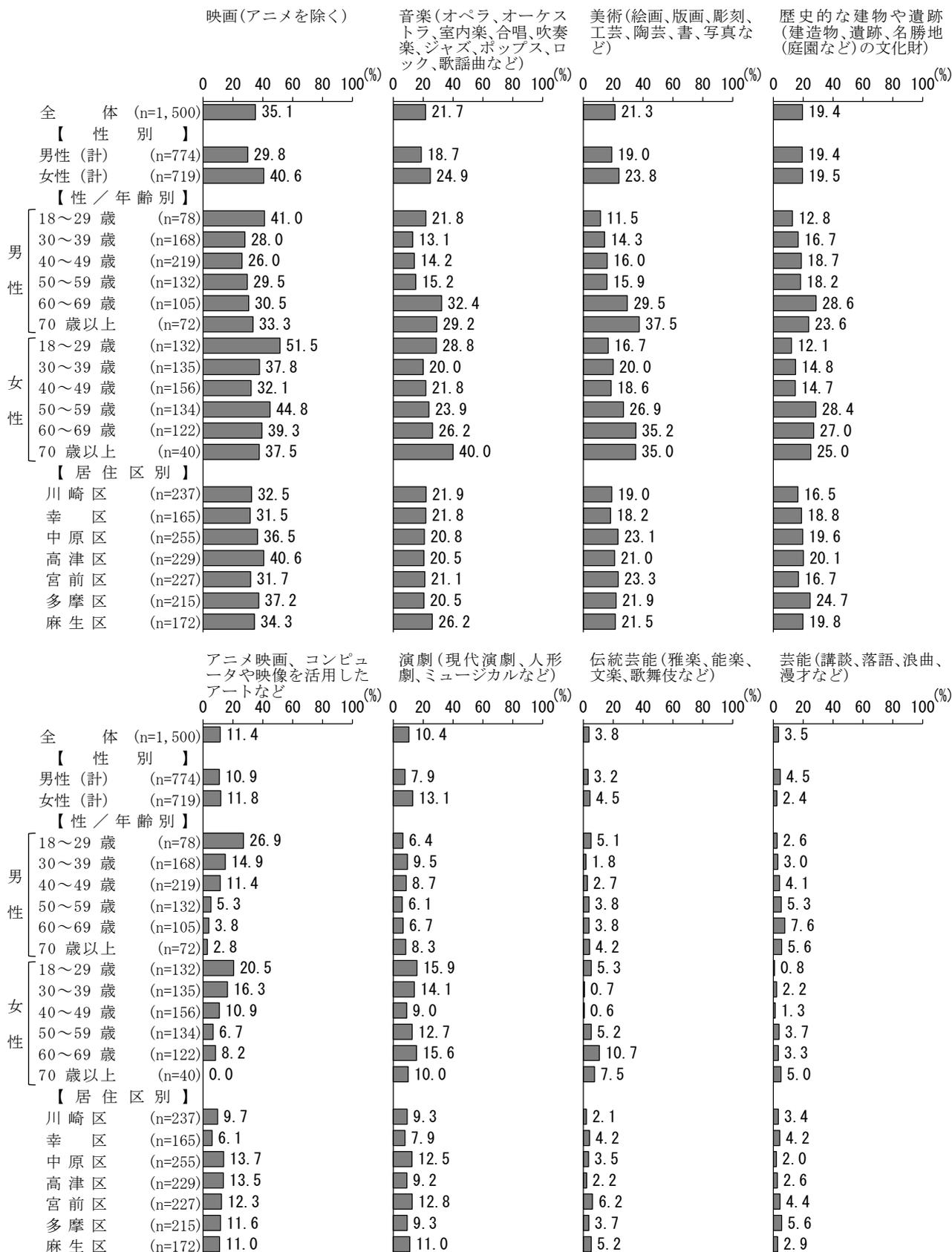
問1. あなたが、過去1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで直接、鑑賞した文化芸術はありますか。(いくつでも)

図表1-1 過去1年間に鑑賞した文化芸術



過去1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで直接、文化芸術を鑑賞したことがある人が約6割であった。鑑賞した文化芸術の種類では、「映画(アニメを除く)」(35.1%)が最も高く、次いで、「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など)」(21.7%)、「美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など)」(21.3%)、「歴史的な建物や遺跡(建造物、遺跡、名勝地(庭園など)の文化財)」(19.4%)の順であった。

図表1-2 過去1年間に鑑賞した文化芸術(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、「映画(アニメを除く)」は女性の18~29歳と50~59歳、男性の18~29歳で過去1年間の鑑賞経験者の割合が4割を超えている。

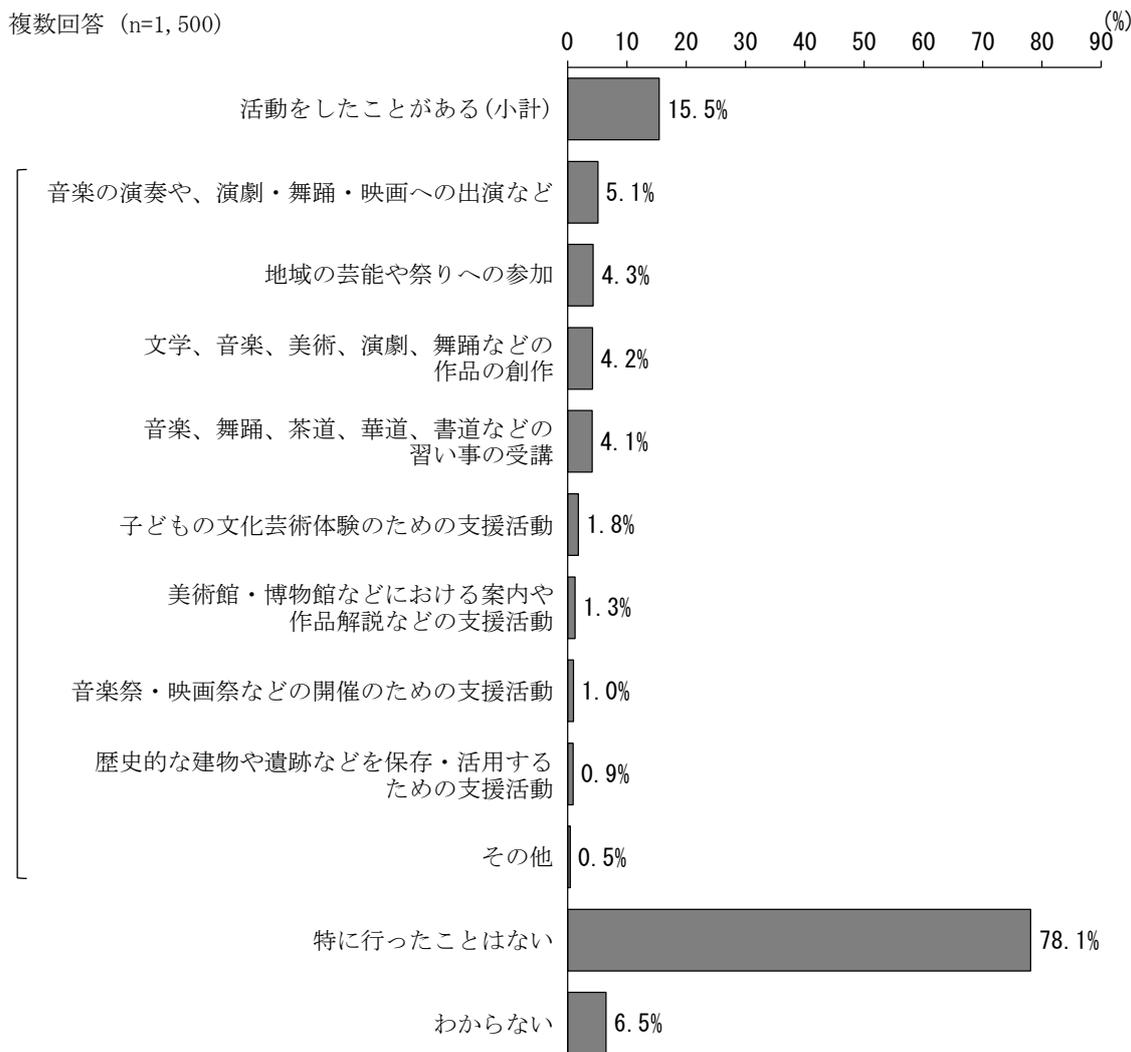
居住区別では、「映画(アニメを除く)」は高津区が40.6%で最も高い。

## 1-2 過去1年間に行った文化芸術活動（鑑賞を除く）

◎「文化芸術活動をした人」が15.5%、「特に行ったことはない」が78.1%

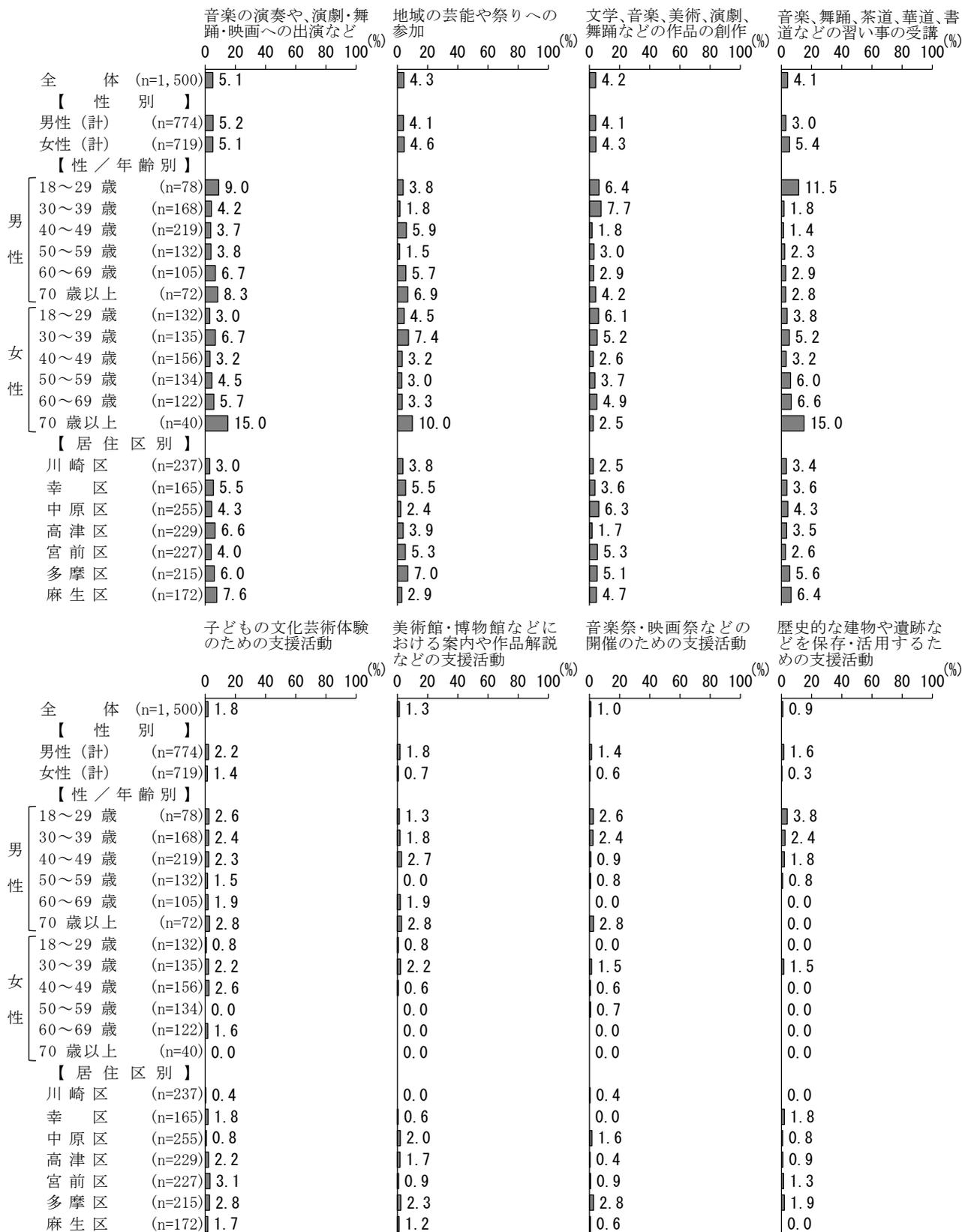
問2. 文化芸術に関わる活動には、作品鑑賞だけではなく、自分で作品を創作したり、習い事をしたり、あるいはボランティアとしてこれらの活動を支援することなどがあります。以下の中で、過去1年間に行った文化芸術に関わる活動はありますか。（いくつでも）

図表1-3 過去1年間に行った文化芸術活動（鑑賞を除く）



過去1年間に、自分で作品を創作したり、習い事をしたり、ボランティアとして活動支援したりするなど、文化芸術に関わる鑑賞以外の活動をしたことがある人の割合は15.5%であった。活動した文化芸術の種類では、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」(5.1%)が最も高く、次いで、「地域の芸能や祭りへの参加」(4.3%)、「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」(4.2%)、「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」(4.1%)の順であった。

図表1-4 過去1年間に行った文化芸術活動(鑑賞を除く)  
(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」は女性の70歳以上(15.0%)が最も高く、次いで、男性の18~29歳と70歳以上でも1割近くであった。

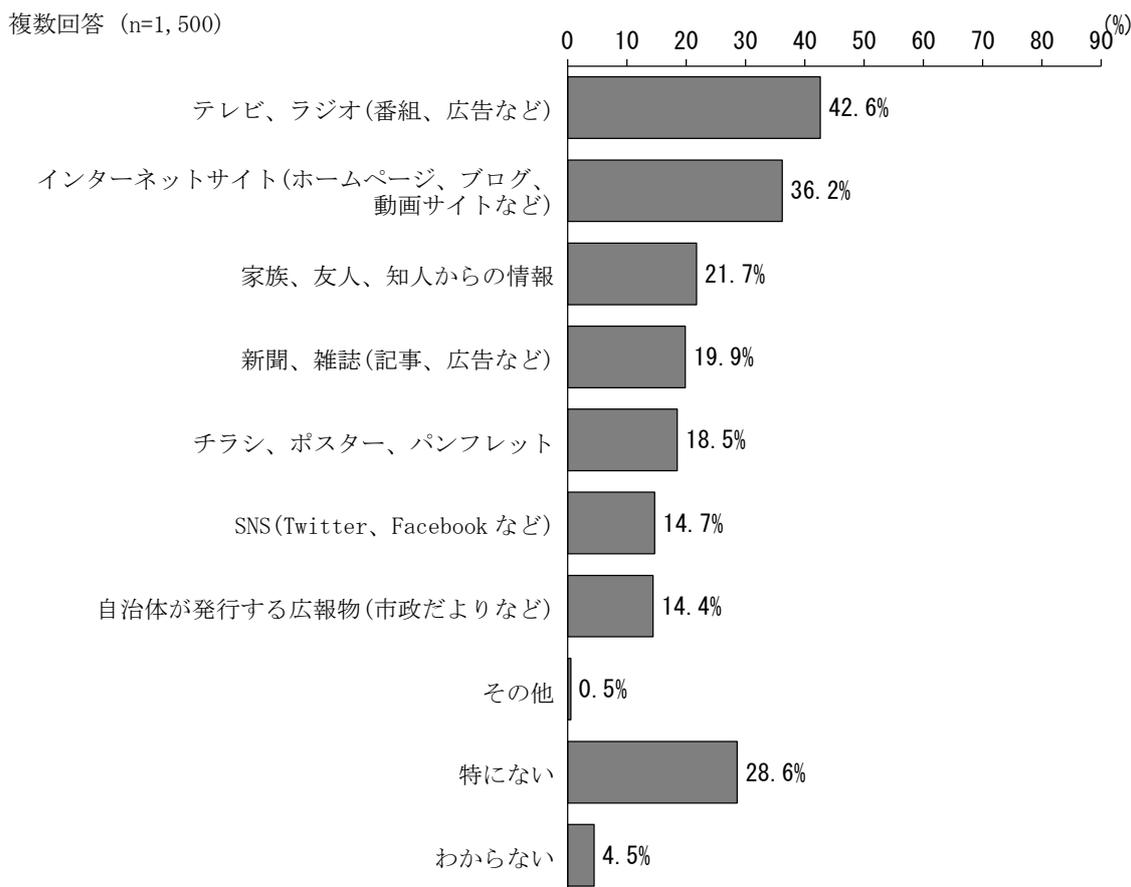
居住区別では、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」は麻生区が7.6%で最も高い。

### 1-3 文化芸術活動に関する情報源

◎「テレビ・ラジオ」が42.6%、「インターネットサイト」が36.2%

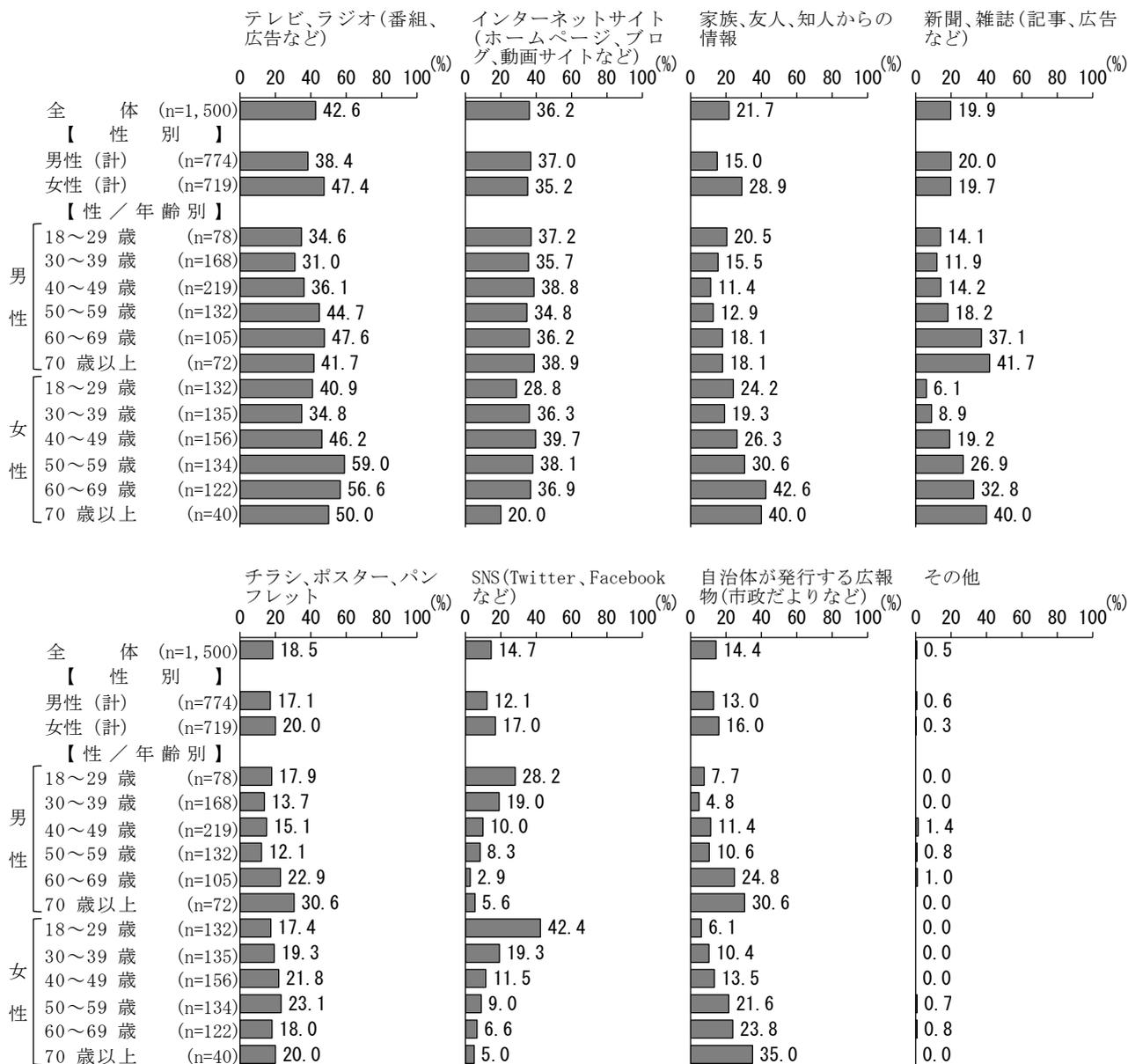
問3. あなたは、文化芸術活動(鑑賞や創作など、活動の種類は問いません)に関する情報を、主にどのようなものから入手していますか。(いくつでも)

図表1-5 文化芸術活動に関する情報源



文化芸術活動に関する情報源としては、「テレビ、ラジオ(番組、広告など)」(42.6%)が最も高く、次いで、「インターネットサイト(ホームページ、ブログ、動画サイトなど)」(36.2%)、「家族、友人、知人からの情報」(21.7%)の順であった。一方で、情報源が「特にない」が28.6%であった。

図表1-6 文化芸術活動に関する情報源(性/年齢別 上位8項目)



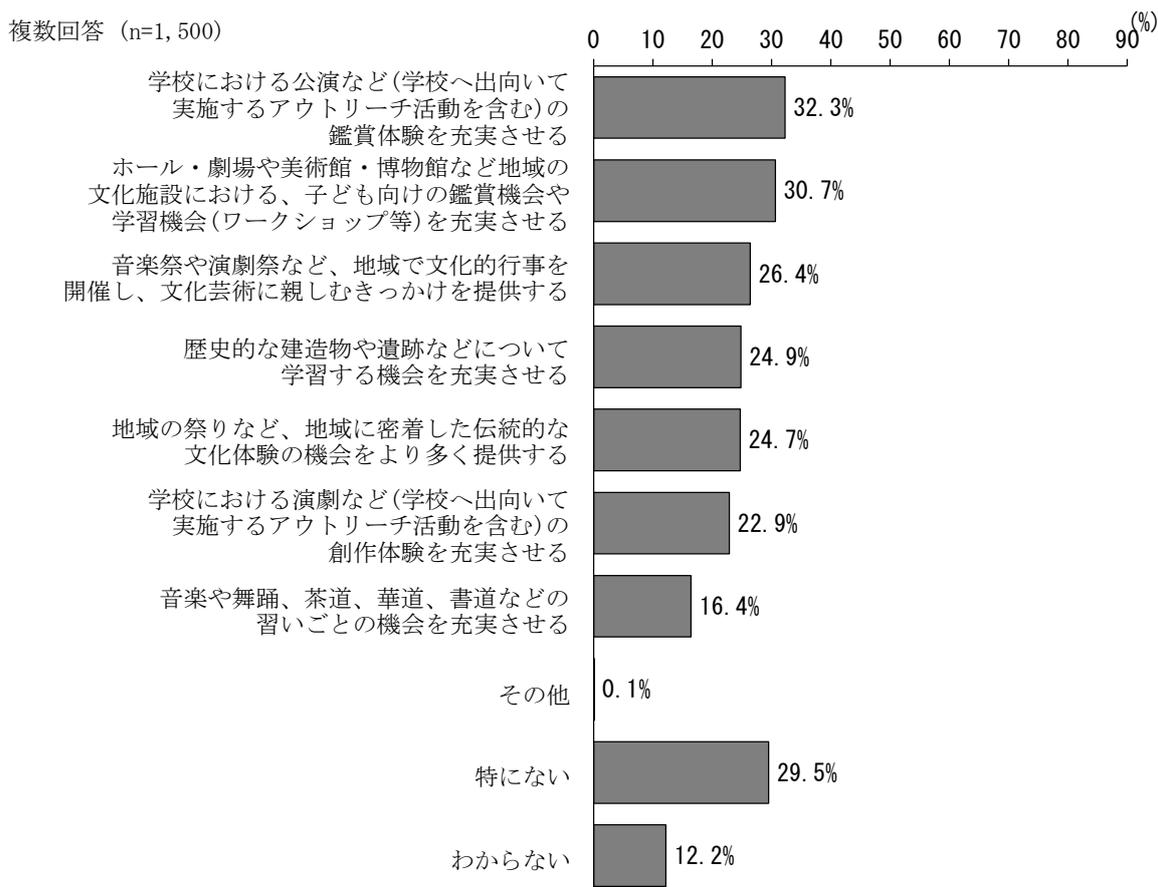
性/年齢別では、「テレビ、ラジオ」は男性の50歳以上と女性の40歳以上の年代で4割を超えており、特に、女性の50歳以上の年代では5割を超えている。それ以外の項目では、「家族、友人、知人からの情報」は女性の60~69歳と70歳以上で、「新聞、雑誌」は男女の70歳以上で、「SNS」は女性の18~29歳で、それぞれ4割を超えている。

## 1-4 子どもや青少年の文化芸術体験について重要なこと

◎「学校における公演などの鑑賞体験を充実させる」が32.3%

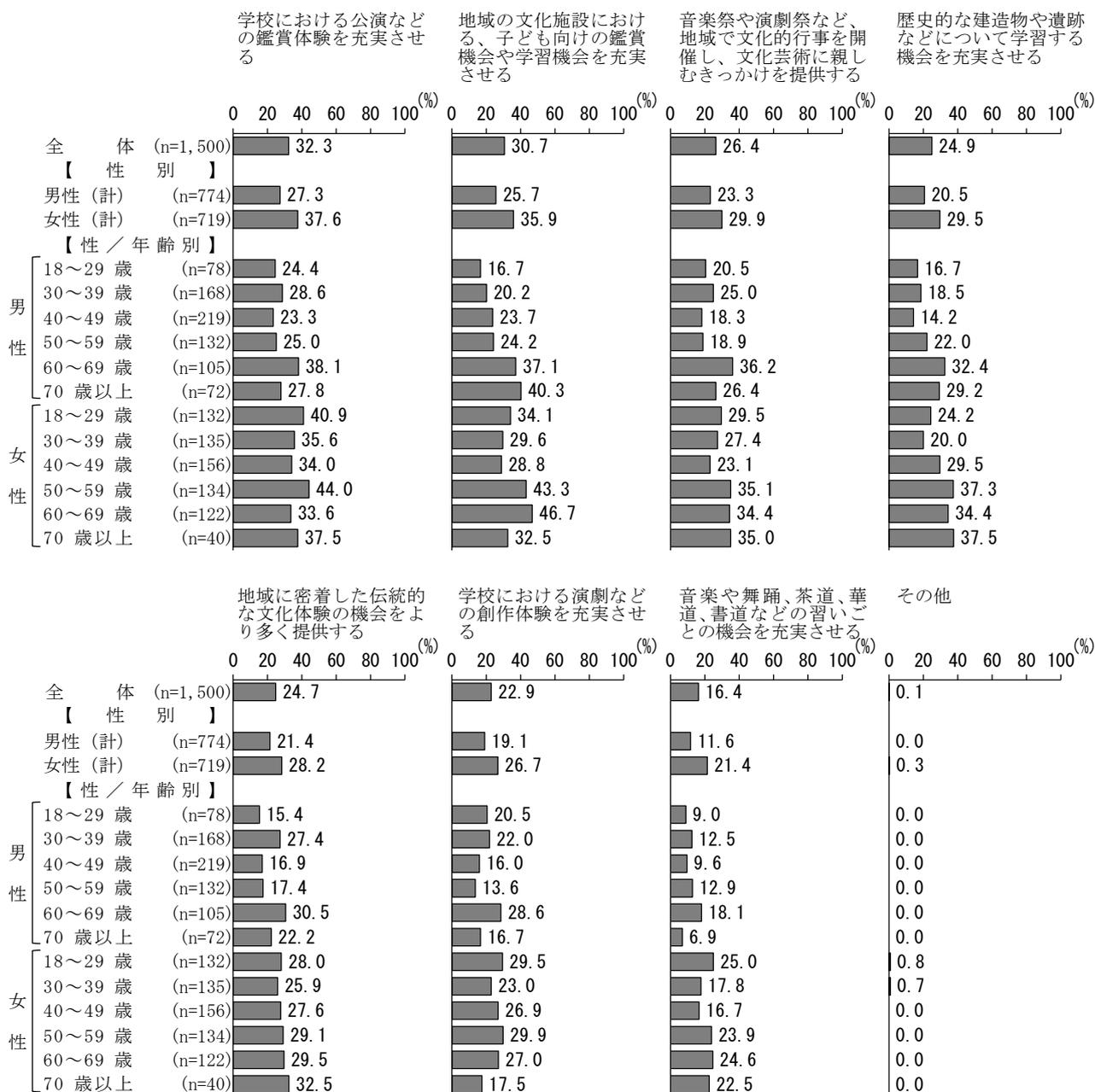
問4. 子どもや青少年の文化芸術体験について、あなたが重要だと思うことはありますか。  
(いくつでも)

図表1-7 青少年の文化芸術体験について重要なこと



子どもや青少年の文化芸術体験について重要だと思うこととしては、「学校における公演など(学校へ出向いて実施するアウトリーチ活動を含む)の鑑賞体験を充実させる」と「ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会(ワークショップ等)を充実させる」が3割を超えている。

図表1-8 子どもや青少年の文化芸術体験について重要なこと(性/年齢別 上位8項目)



性/年齢別では、「学校における公演などの鑑賞体験を充実させる」は男性の60~69歳と女性のすべての年代で3割を超えている。それ以外の項目では、「地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる」は男性の60~69歳と70歳以上、女性の18~29歳と50歳以上の年代で3割を超えている。

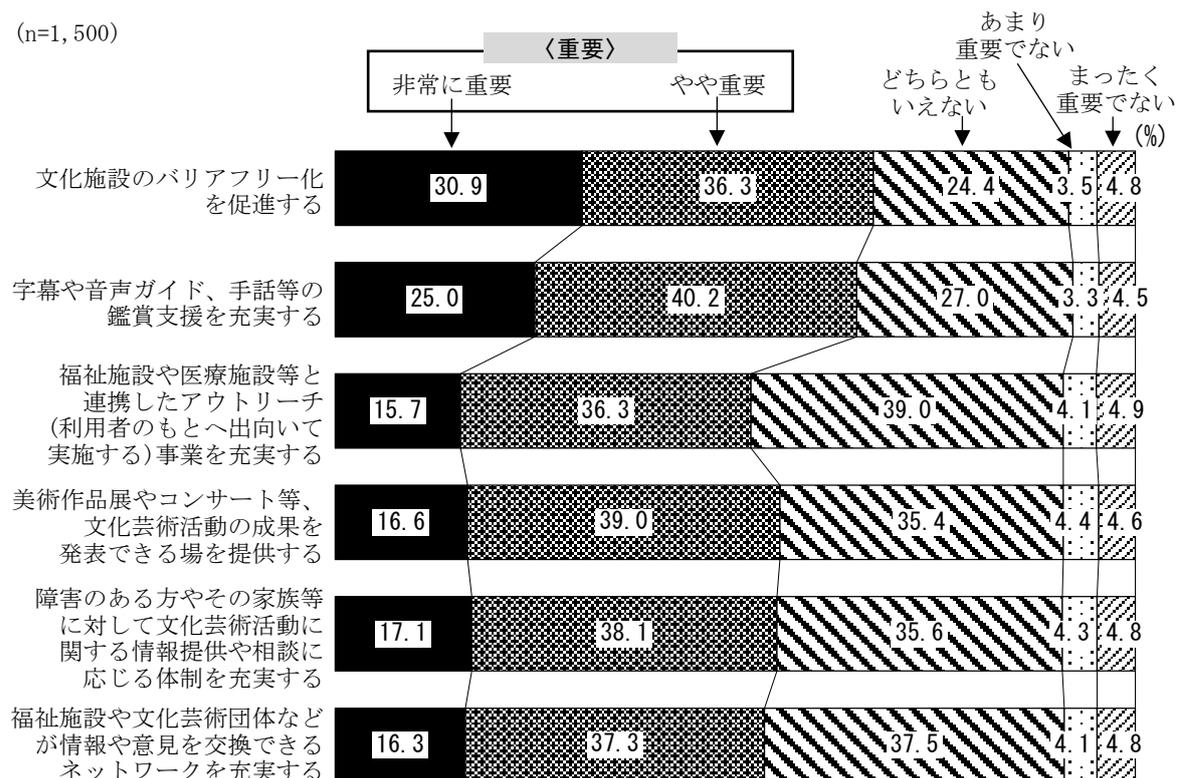
### 1-5 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり

◎「文化施設のバリアフリー化を促進する」について<重要>が67.3%

問5. 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくりに向けた各種の取組についてあなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(ヨコに1つずつ)

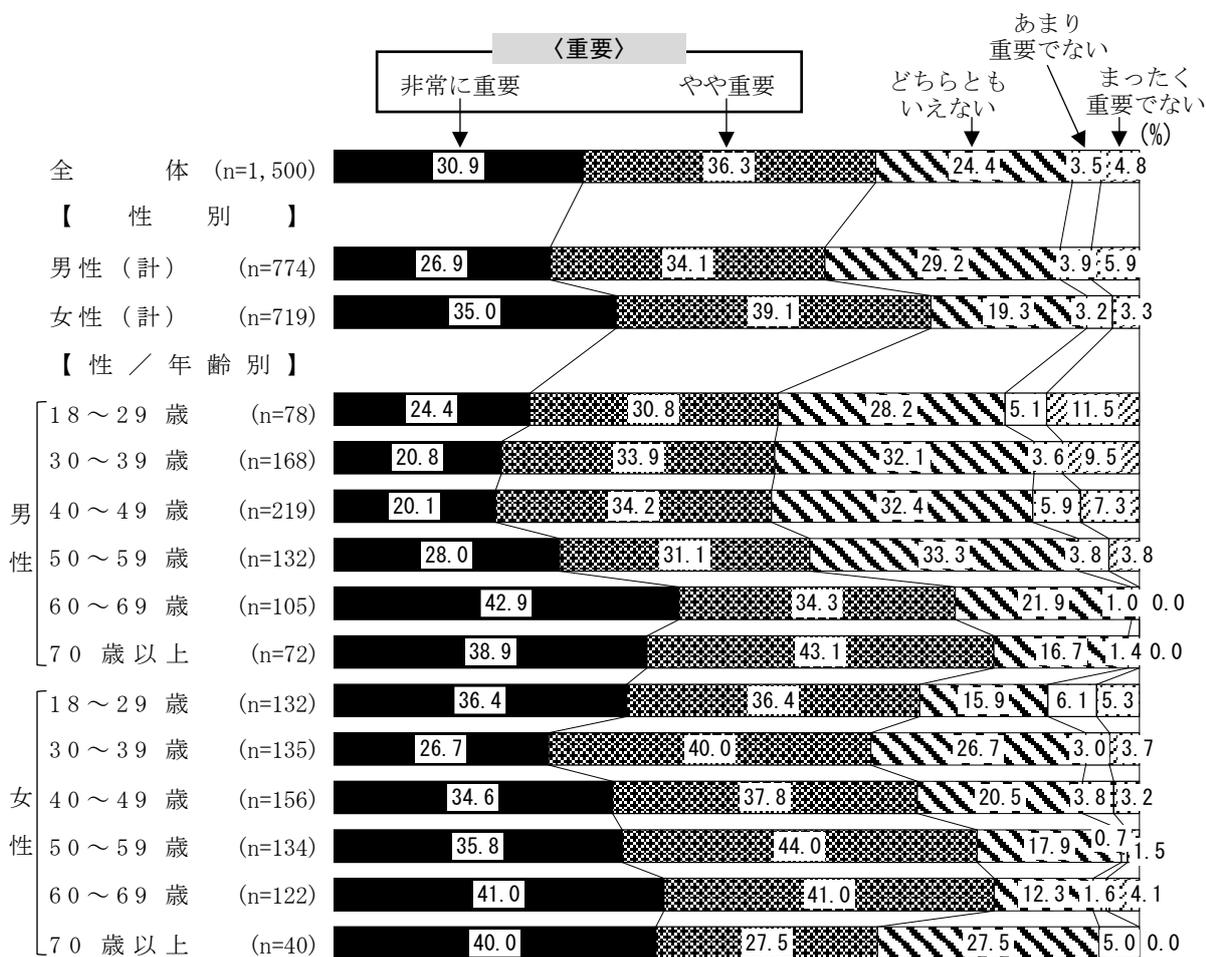
図表 1-9 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり

(n=1,500)



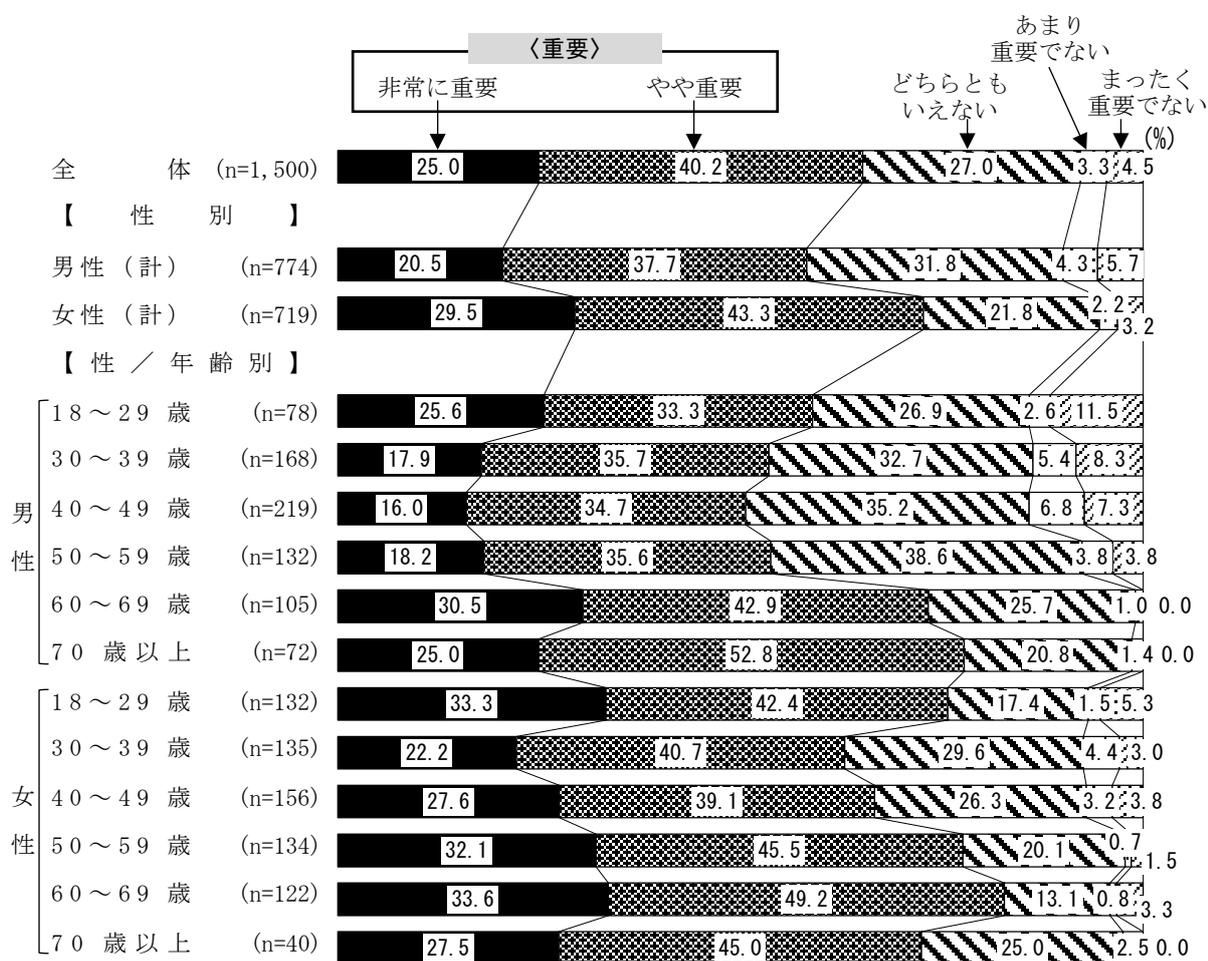
障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくりに向けた各種の取組の中で「非常に重要」と「やや重要」を合計した<重要>が最も高かったのは「文化施設のバリアフリー化を促進する」(67.3%)で、次いで、「字幕や音声ガイド、手話等の鑑賞支援を充実する」(65.2%)となっているほか、全ての取組で5割を超えている。

図表1-10 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり (性/年齢別)  
【文化施設のバリアフリー化を促進する】



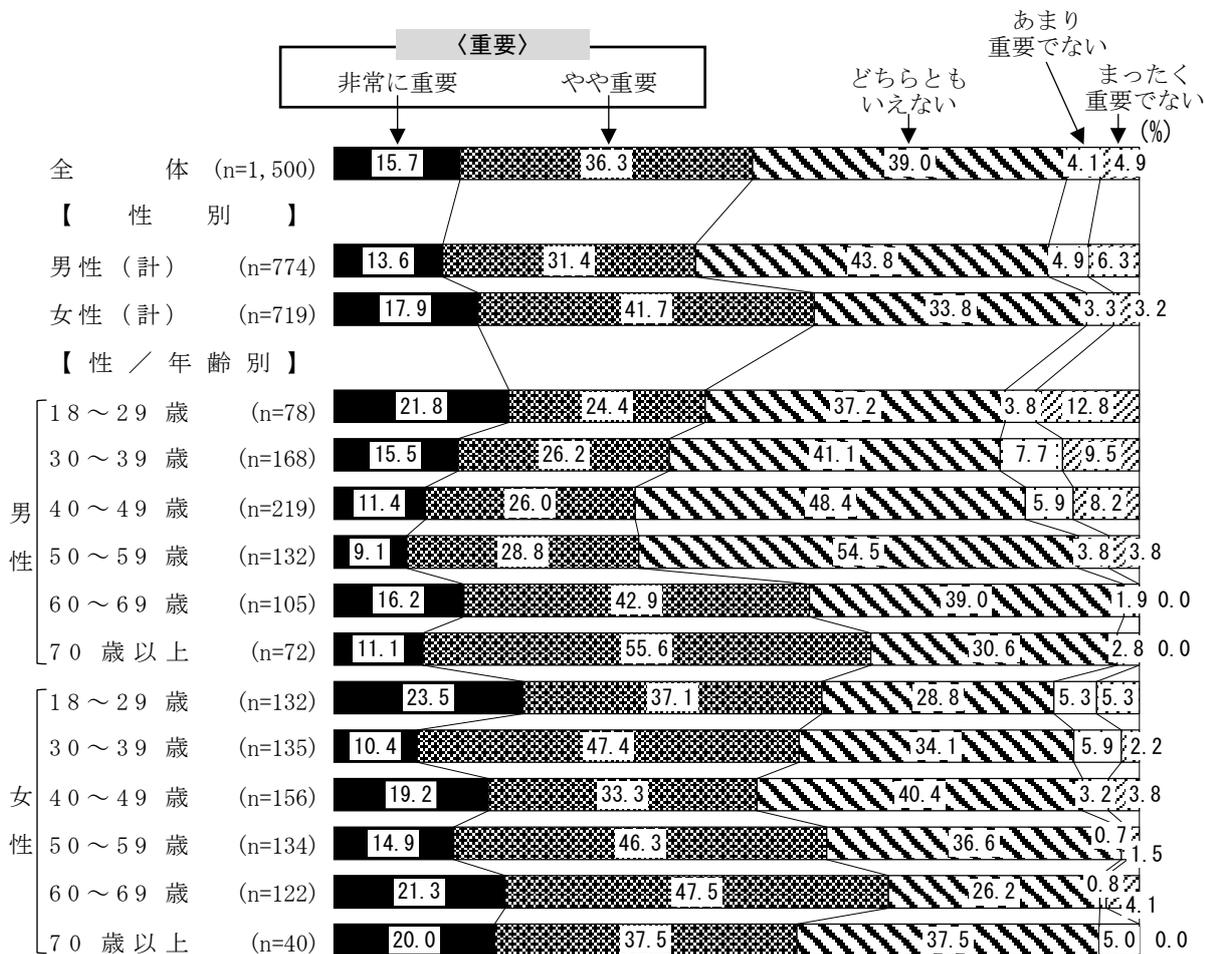
性/年齢別では、男性の60~69歳と70歳以上、女性のすべての年代で「非常に重要」と「やや重要」を合計した<重要>が6割を超えている。

図表1-1-1 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり（性／年齢別）  
【字幕や音声ガイド、手話等の鑑賞支援を充実する】



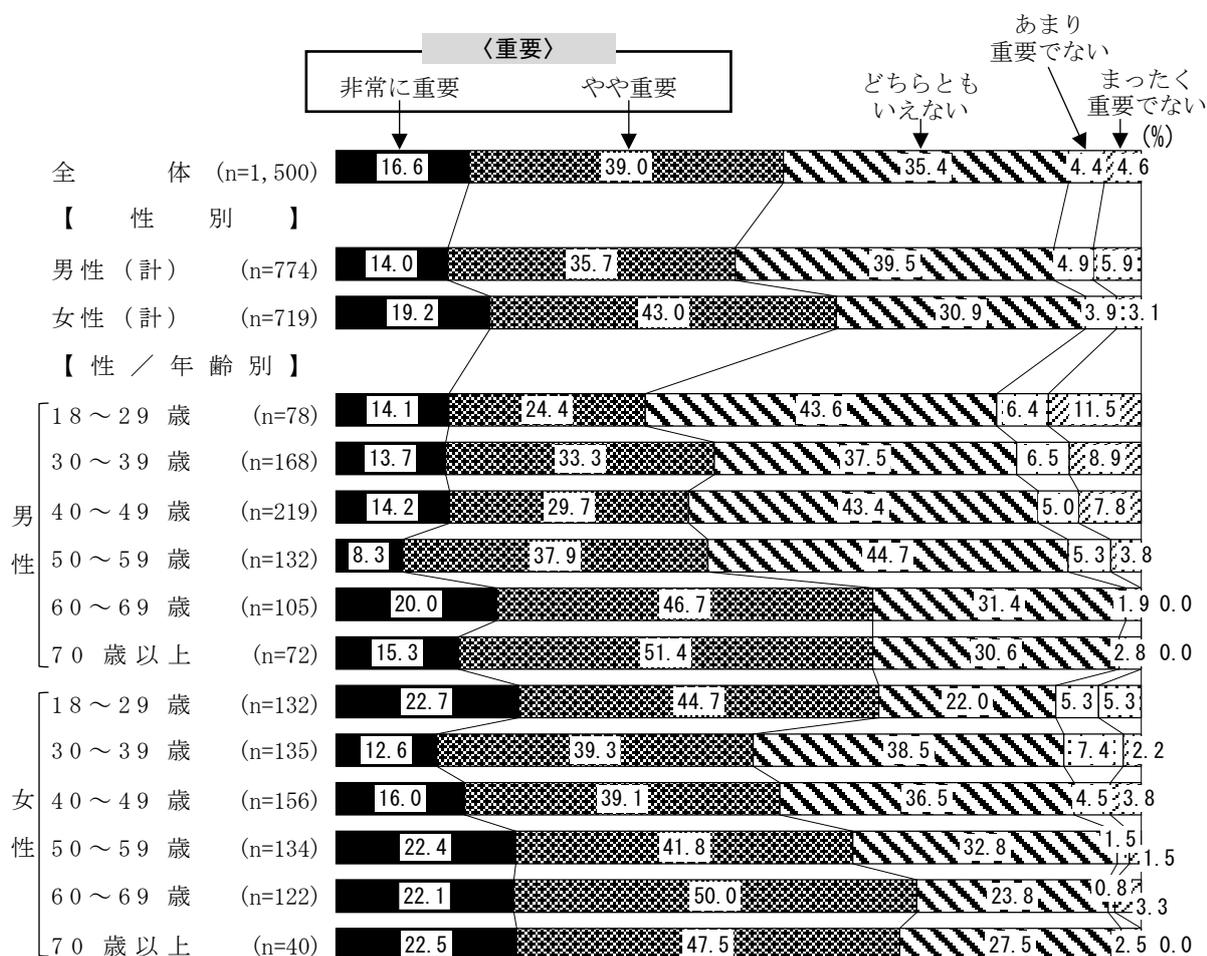
性／年齢別では、男性の60～69歳と70歳以上、女性のすべての年代で「非常に重要」と「やや重要」を合計した＜重要＞が6割を超えている。

図表1-12 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり（性／年齢別）  
 【福祉施設や医療施設等と連携したアウトリーチ（利用者のもとへ出向いて実施する）事業を充実する】



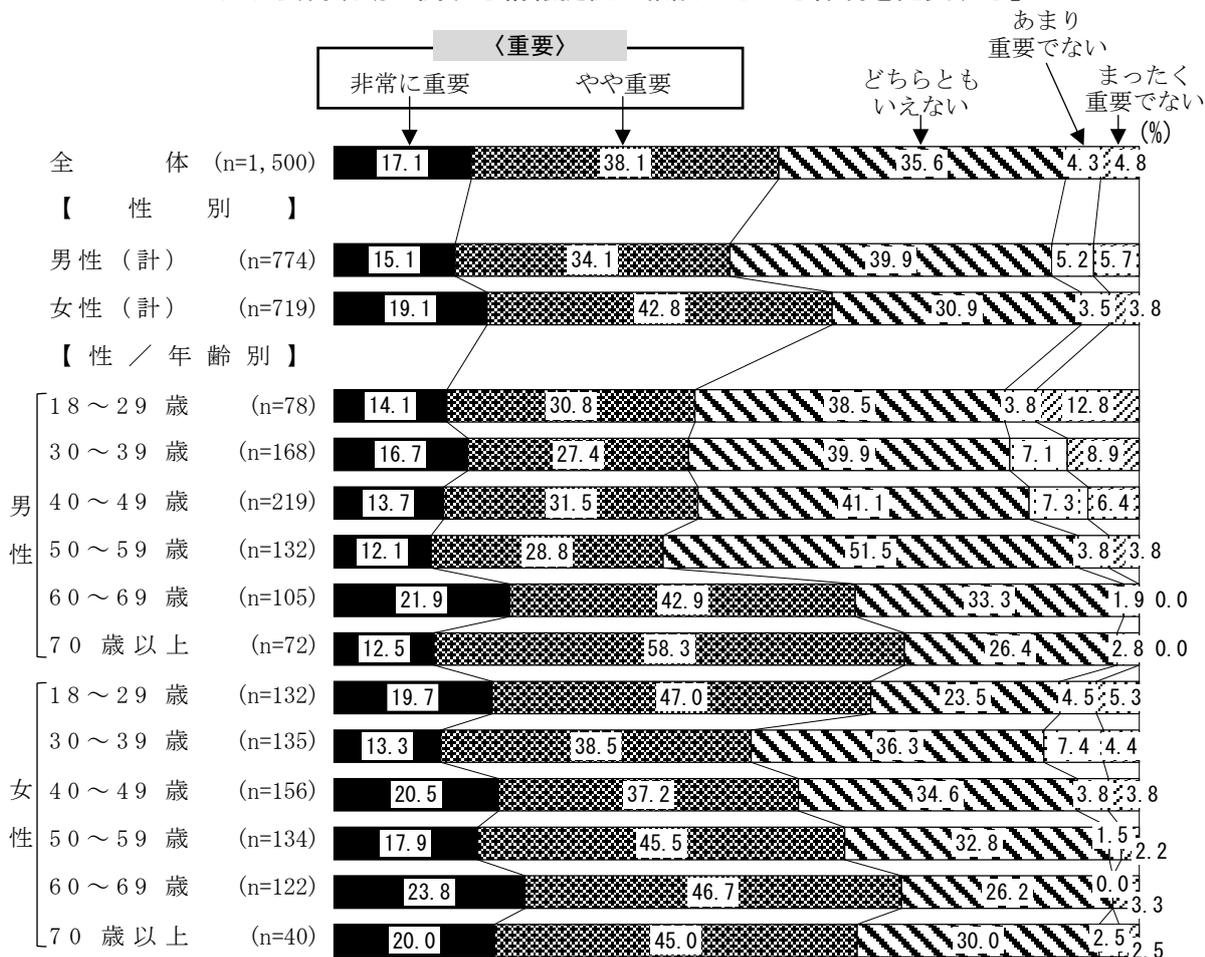
性／年齢別では、男性の70歳以上、女性の18～29歳、50～59歳、60～69歳で「非常に重要」と「やや重要」を合計した＜重要＞が6割を超えている。

図表1-13 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり（性／年齢別）  
【美術作品展やコンサート等、文化芸術活動の成果を発表できる場を提供する】



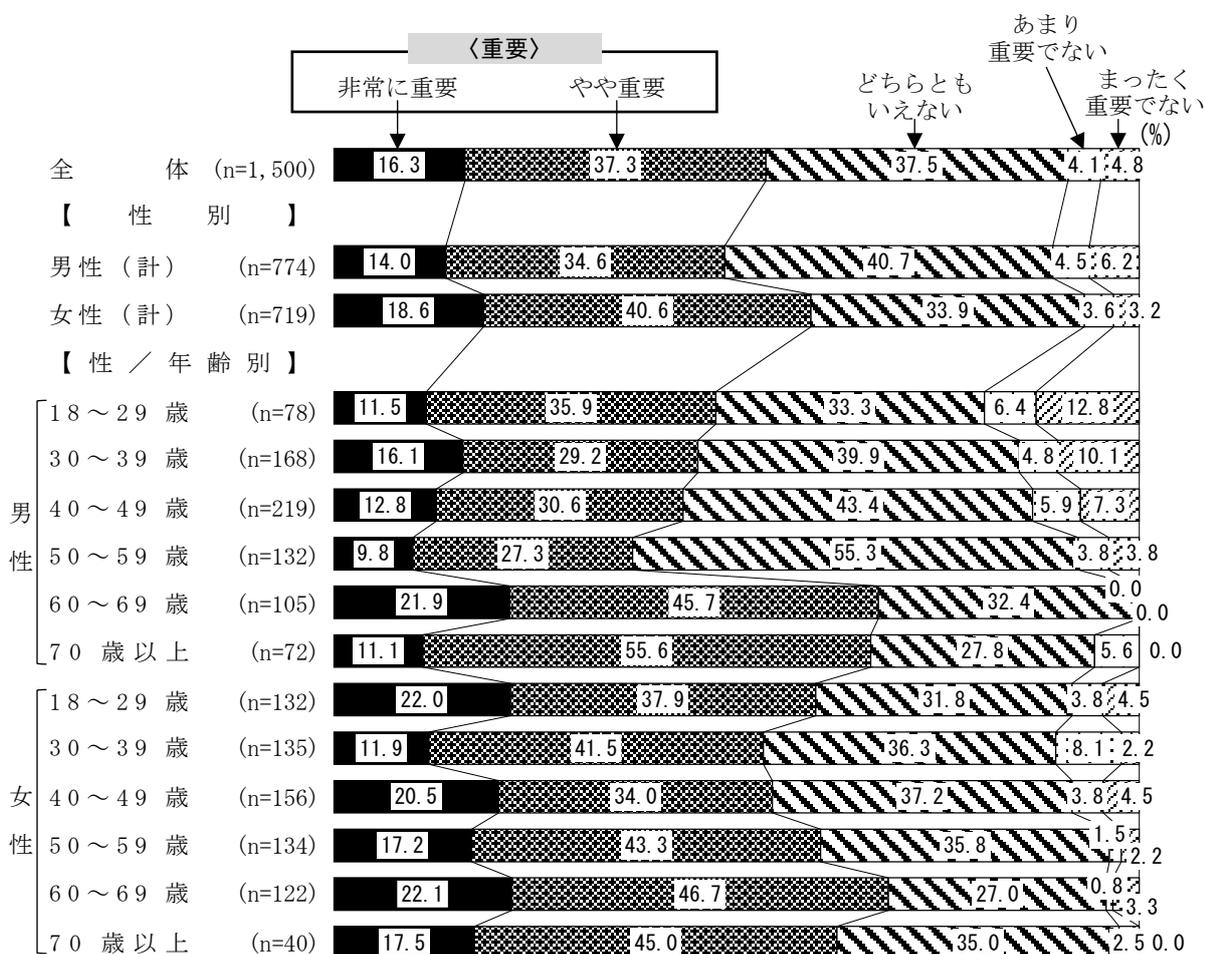
性／年齢別では、男性の60～69歳と70歳以上、女性の18～29歳と50歳以上の年代で「非常に重要」と「やや重要」を合計した<重要>が6割を超えている。

図表1-14 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり（性／年齢別）  
 【障害のある方やその家族等に対して  
 文化芸術活動に関する情報提供や相談に応じる体制を充実する】



性／年齢別では、男性の60～69歳と70歳以上、女性の18～29歳と50歳以上の年代で「非常に重要」と「やや重要」を合計した<重要>が6割を超えている。

図表1-15 障害のある方が文化芸術活動に親しめる環境づくり（性／年齢別）  
【福祉施設や文化芸術団体などが情報や意見を交換できるネットワークを充実する】



性／年齢別では、男性の60～69歳と70歳以上、女性の50歳以上の年代で「非常に重要」と「やや重要」を合計した＜重要＞が6割を超えている。

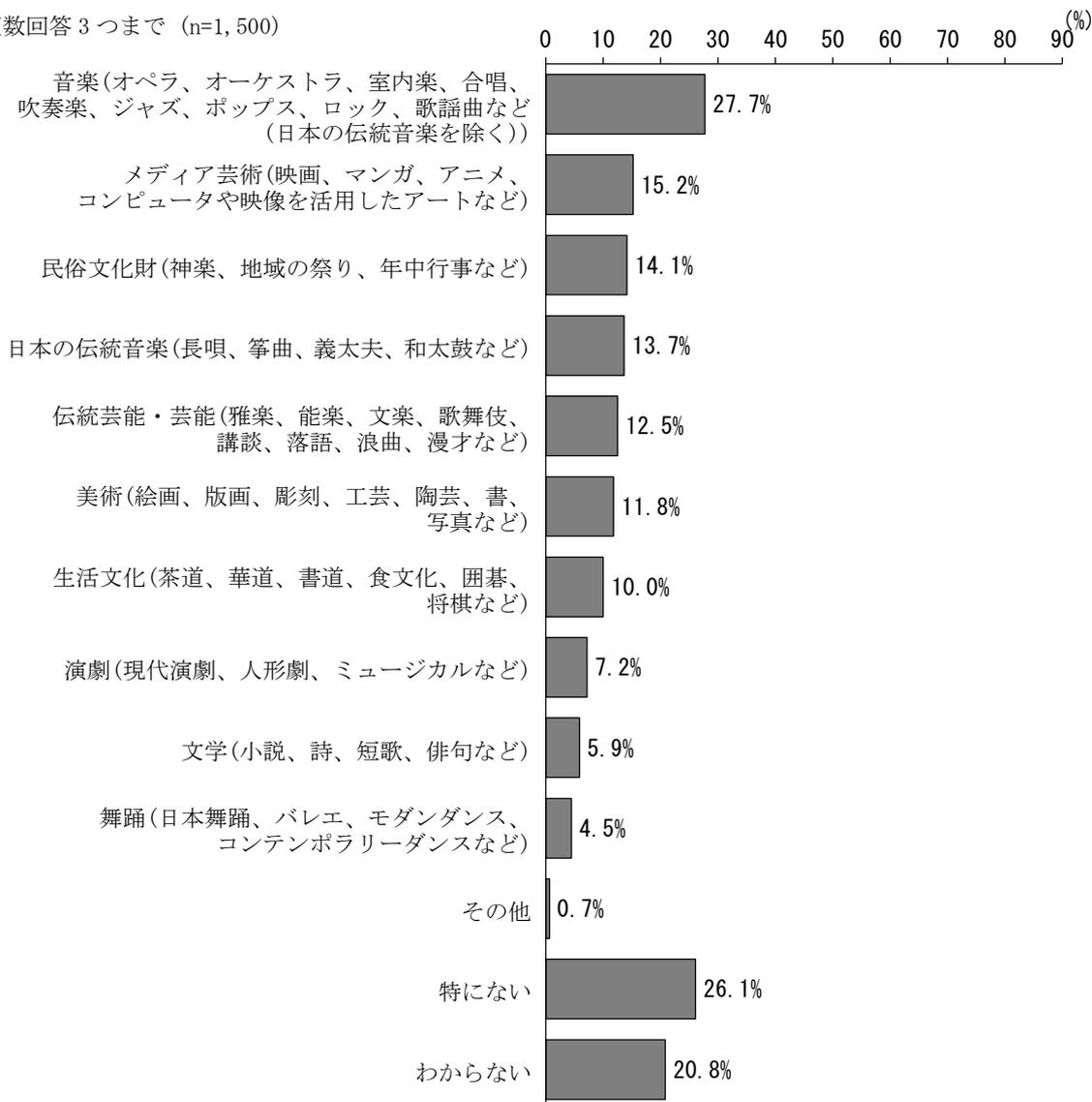
## 1-6 積極的に発信すべき川崎市の文化芸術分野

◎積極的に発信すべき分野は、「音楽」が27.7%

問6. オリンピック・パラリンピックはスポーツのみならず文化の祭典ともいわれています。2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、川崎市の魅力的な文化芸術を国内外に発信するため、積極的に取り組むべきとお考えの分野はありますか。(3つまで)

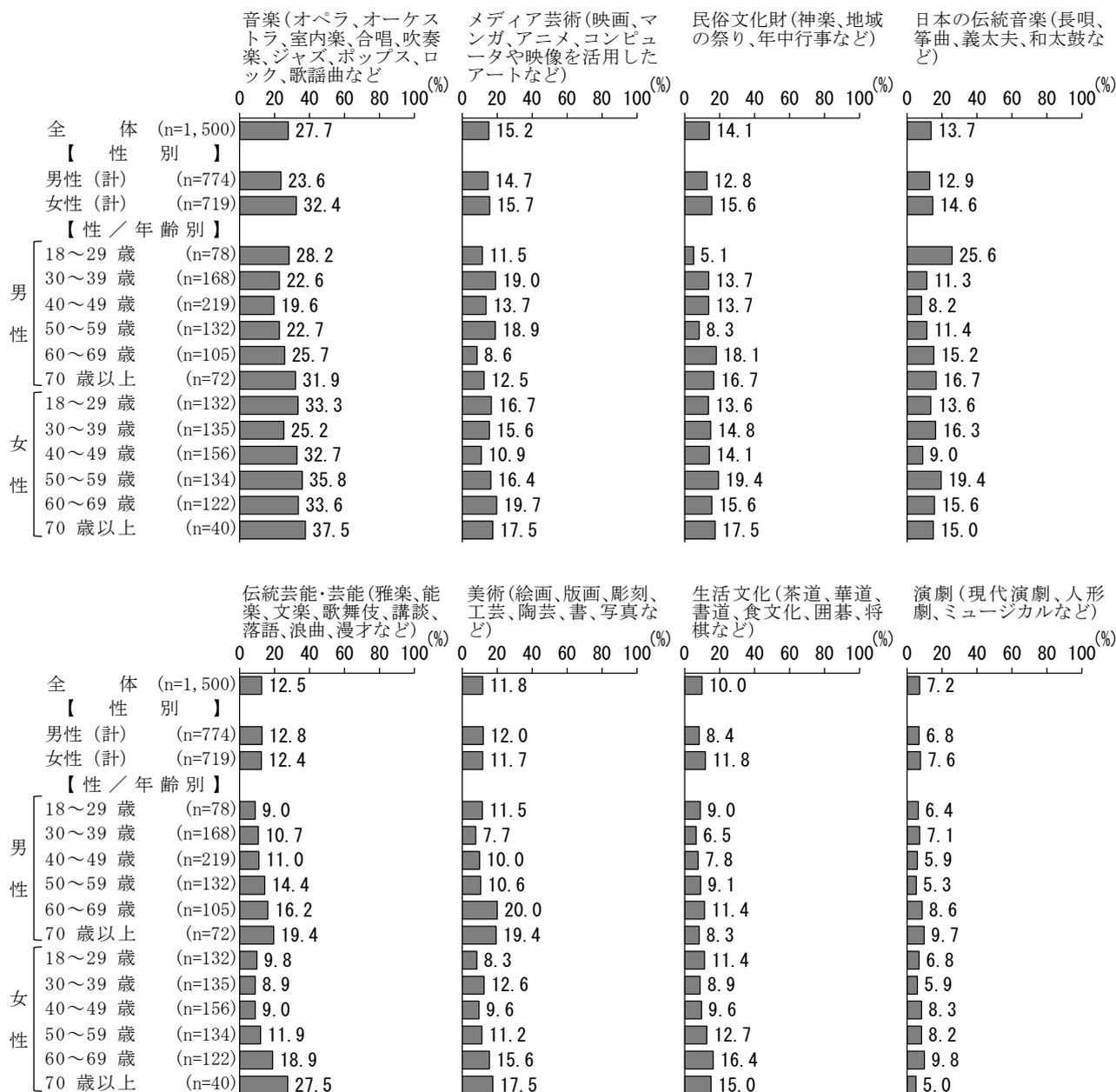
図表1-16 積極的に発信すべき川崎市の文化芸術分野

複数回答3つまで (n=1,500)



2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、川崎市の魅力的な文化芸術を国内外に発信するために積極的に取り組むべきと思う分野について聞いたところ、「音楽(オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など(日本の伝統音楽を除く))」が27.7%で最も高くなっている。

図表1-17 積極的に発信すべき川崎市の文化芸術分野  
(性/年齢別 上位8項目)



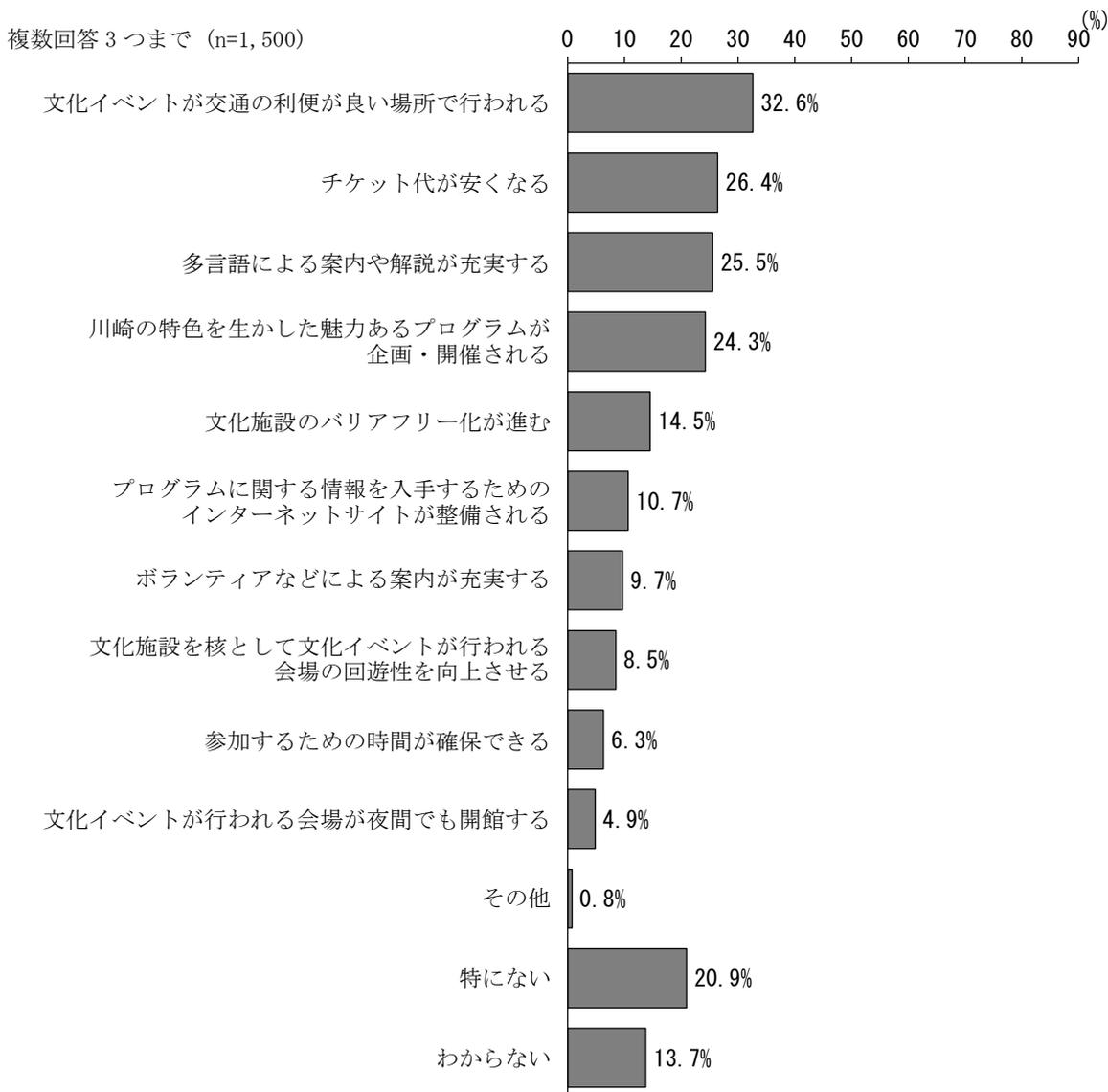
性/年齢別では、「音楽」は男性の70歳以上、女性の18~29歳と40歳以上の年代で3割を超え、他の年代でも2割前後から3割近くとなっている。それ以外の項目では、「日本の伝統音楽」は男性の18~29歳で、「伝統芸能・芸能」は女性の70歳以上で、「美術」は男性の60~69歳で、それぞれ2割を超えている。

## 1-7 川崎市の文化芸術活動に多くの人々が参加するために必要な対策

◎「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」が32.6%

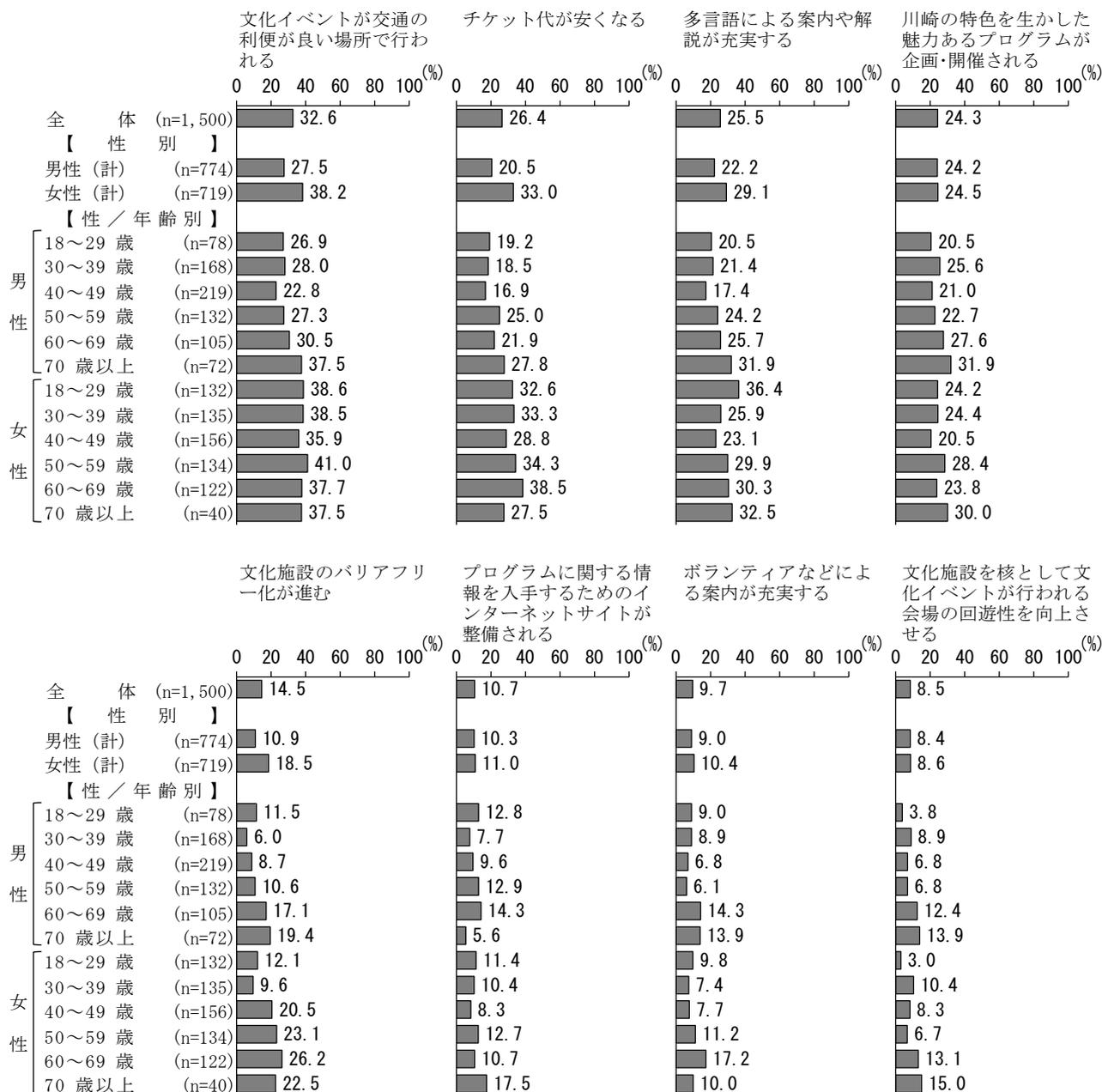
問7. 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、川崎市の文化芸術活動に国内外の多くの人々が参加するために特に必要とお考えの対策はありますか。(3つまで)

図表1-18 川崎市の文化芸術活動に多くの人々が参加するために必要な対策



川崎市の文化芸術活動に国内外の多くの人々が参加するために特に必要な対策について聞いたところ、「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」(32.6%)が最も高く、次いで、「チケット代が安くなる」(26.4%)、「多言語による案内や解説が充実する」(25.5%)、「川崎の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される」(24.3%)の順となっている。

図表1-19 川崎市の文化芸術活動に多くの人が参加するために必要な対策  
(性/年齢別 上位8項目)



性/年齢別では、「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」は男性の60~69歳と70歳以上、女性のすべての年代で3割を超え、男性の59歳以下の年代でも2割以上~3割近くとなっている。それ以外の項目では、「チケット代が安くなる」は女性の18~29歳と30~39歳、50~59歳と60~69歳で、「多言語による案内や解説が充実する」は男性の70歳以上、女性の18~29歳と60歳以上の年代で、「川崎の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される」は男女の70歳以上で、それぞれ3割を超えている。